

調査結果の概説

1 人口について

(1) 総人口

令和2年より約20万人増加

令和7年国勢調査による東京都の人口は、14,246,219人となり、令和2年と比べ198,625人(1.41%)増加した。

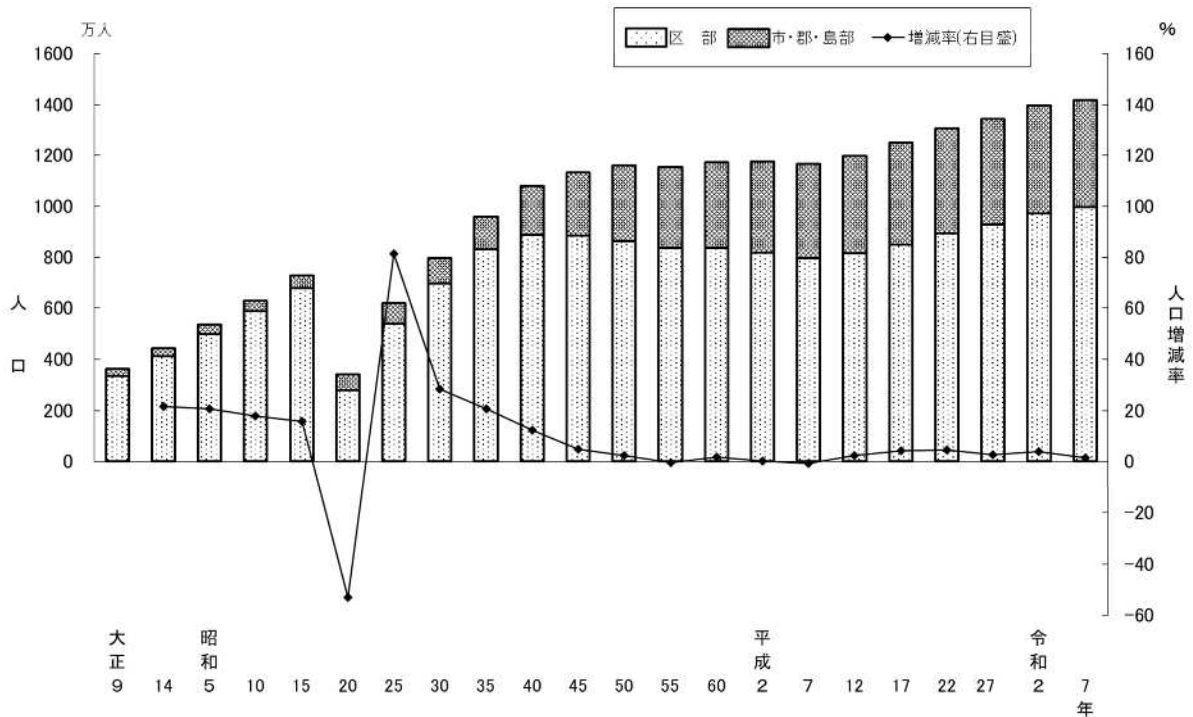
昭和25年以降の人口の推移をみると、昭和55年及び平成7年にわずかに減少しているものの、他の年ではすべて増加した。

(表1、図1、統計表1)

表1 人口の推移

年次	人口総数	対前回	
		増減数	増減率
平成17年	12,576,601	512,500	4.25
22年	13,159,388	582,787	4.63
27年	13,515,271	355,883	2.70
令和2年	14,047,594	532,323	3.94
7年	14,246,219	198,625	1.41

図1 人口及び人口増減率の推移



注) 昭和20年は「人口調査」の結果による。

(2) 男女別人口

低下する人口性比

東京都の人口を男女別にみると、男性6,971,785人(構成比48.94%)、女性7,274,434人(同51.06%)である。人口性比(女性100人に対する男性の数)は95.8であり、令和2年より0.7下回っている。

大正9年の調査開始以降、人口性比は低下傾向にある(平成12年に初めて男性の数と女性の数が逆転した。)

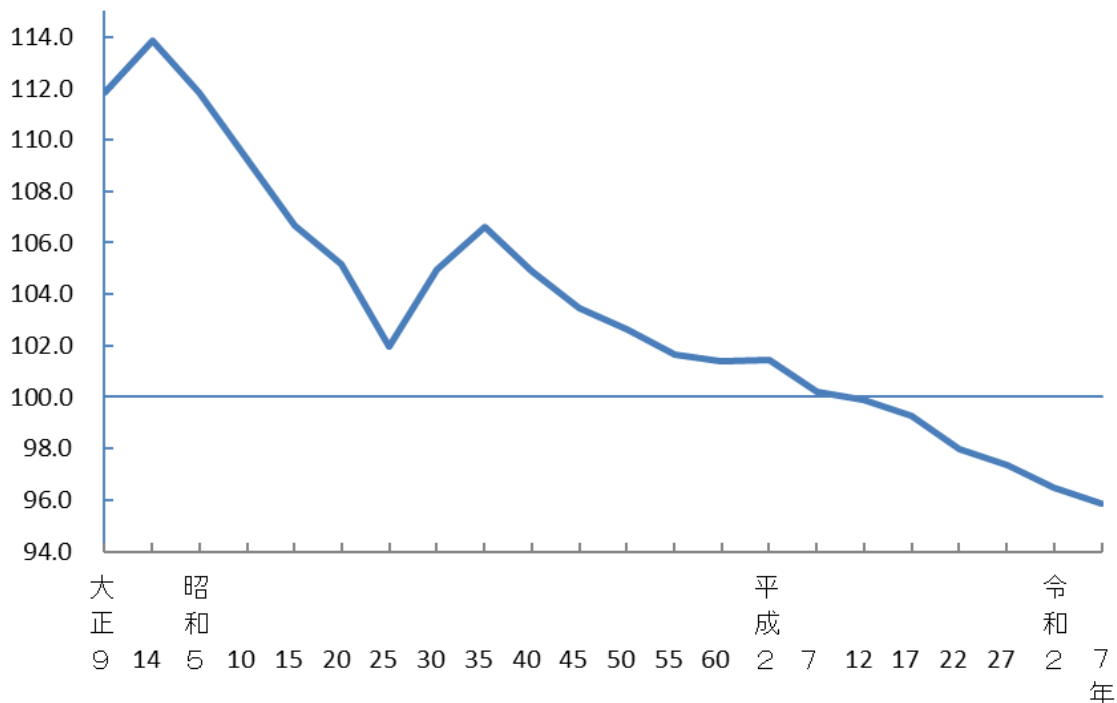
(表2、図2、統計表1、3)

表2 男女別人口の推移

年次	総数		男		女		人口性比
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
平成17年	12,576,601	100.00	6,264,895	49.81	6,311,706	50.19	99.3
22年	13,159,388	100.00	6,512,110	49.49	6,647,278	50.51	98.0
27年	13,515,271	100.00	6,666,690	49.33	6,848,581	50.67	97.3
令和2年	14,047,594	100.00	6,898,388	49.11	7,149,206	50.89	96.5
7年	14,246,219	100.00	6,971,785	48.94	7,274,434	51.06	95.8

単位：人、%

図2 人口性比の推移



(3) 地域別人口

区部は引き続き増加、市部・郡部・島部は減少

地域別に人口をみると、区部では9,953,160人で、令和2年と比べ219,884人(2.26%)増加し、市部では4,217,852人で、令和2年と比べ16,529人(△0.39%)減少した。郡部では53,156人で、令和2年と比べ2,320人(△4.18%)減少し、島部でも22,051人で、令和2年と比べ2,410人(△9.85%)減少した。なお、市部は初めて減少した。

(図3、4、統計表2、3、4)

図3 地域別人口の推移

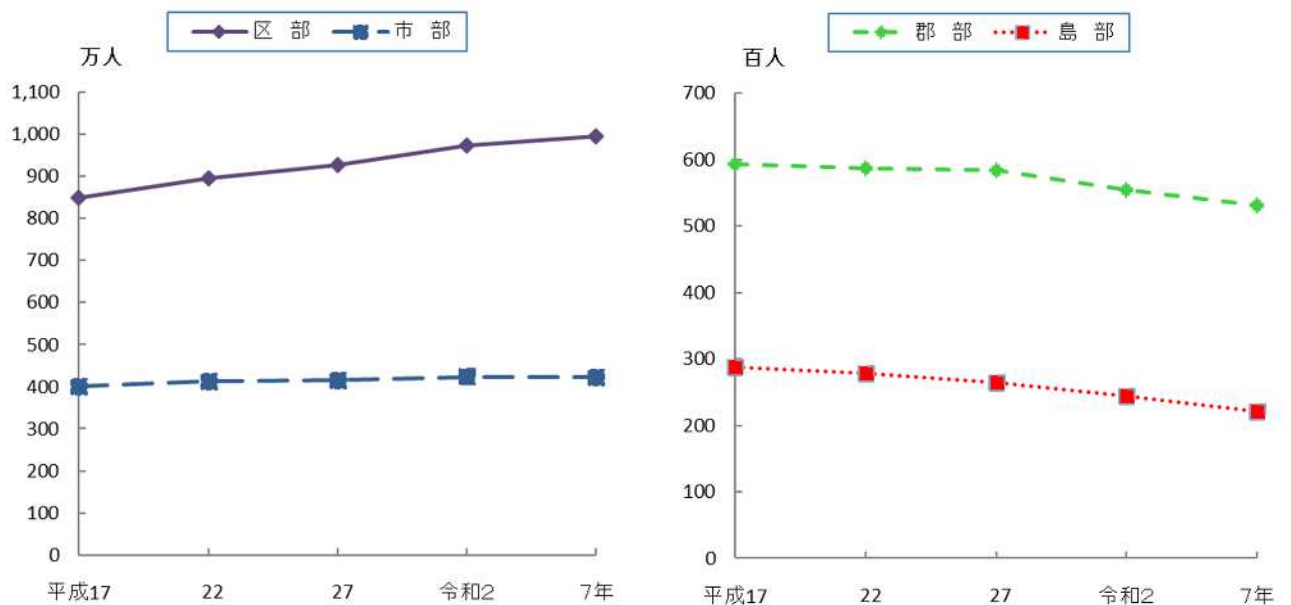


図4-1 地域別人口増減率の推移 (平成17年～令和7年)

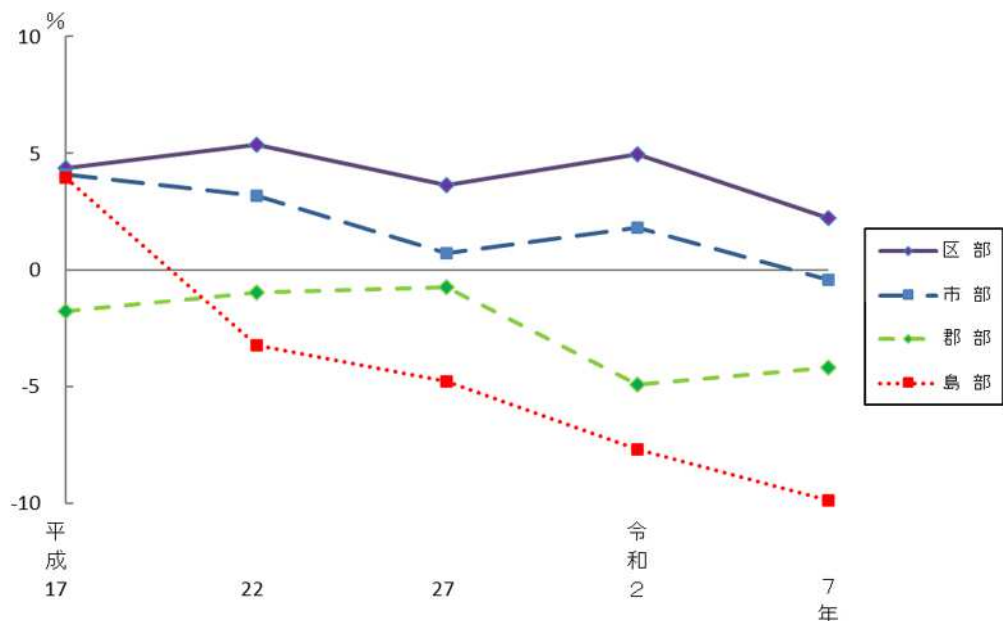
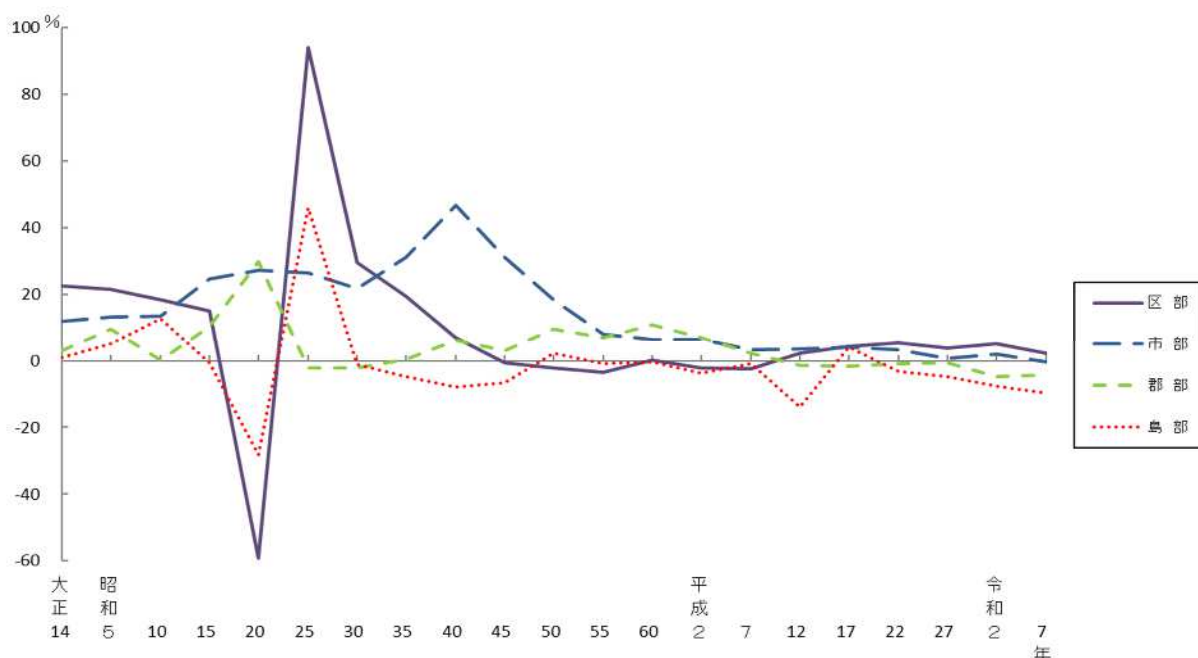


図4-2 地域別人口増減率の推移（大正14年～令和7年）



注) 昭和20年は「人口調査」の結果による。

地域別の人口上位区市町村は島部を除き変わらず

区市町村別の人口をみると、区部では世田谷区（956,608人）、練馬区（761,587人）、大田区（759,409人）、江戸川区（705,063人）、足立区（702,718人）の順である。市部では八王子市（574,087人）、町田市（420,962人）、府中市（263,172人）、調布市（245,536人）、西東京市（207,589人）の順であり、郡部では瑞穂町（31,161人）、日の出町（16,064人）、奥多摩町（4,170人）の順、島部では八丈町（6,476人）、大島町（6,302人）、小笠原村（2,711人）の順である。

（表3、統計表3）

表3 人口上位区市町村

		単位：人				
地域	順位	令和7年		順位	令和2年	
区部	1	世田谷区	956,608	1	世田谷区	943,664
	2	練馬区	761,587	2	練馬区	752,608
	3	大田区	759,409	3	大田区	748,081
	4	江戸川区	705,063	4	江戸川区	697,932
	5	足立区	702,718	5	足立区	695,043
市部	1	八王子市	574,087	1	八王子市	579,355
	2	町田市	420,962	2	町田市	431,079
	3	府中市	263,172	3	府中市	262,790
	4	調布市	245,536	4	調布市	242,614
	5	西東京市	207,589	5	西東京市	207,388
郡部	1	瑞穂町	31,161	1	瑞穂町	31,765
	2	日の出町	16,064	2	日の出町	16,958
	3	奥多摩町	4,170	3	奥多摩町	4,750
島部	1	八丈町	6,476	1	大島町	7,102
	2	大島町	6,302	2	八丈町	7,042
	3	小笠原村	2,711	3	小笠原村	2,929

31 区市で人口増加

区市町村別の人口の増減をみると、令和2年より31区市（20区11市）で増加し、31区市町村（3区15市5町8村）で減少した。

増加数をみると、区部では江東区（29,048人）、台東区（16,946人）、葛飾区（14,521人）の順であり、市部では立川市（5,560人）、調布市（2,922人）、小金井市（2,917人）の順である。

減少数をみると、区部では渋谷区（△4,764人）、目黒区（△1,620人）、千代田区（△481人）の順であり、市部では町田市（△10,117人）、多摩市（△5,715人）、八王子市（△5,268人）の順、郡部では日の出町（△894人）、瑞穂町（△604人）の順、島部では大島町（△800人）、八丈町（△566人）の順である。

（表4、図5、統計表3）

表4 人口増加数、減少数の上位区市町村（令和7年）

		単位：人				
地域	順位	増加数		順位	減少数	
区部	1	江東区	29,048	1	渋谷区	△4,764
	2	台東区	16,946	2	目黒区	△1,620
	3	葛飾区	14,521	3	千代田区	△481
市部	1	立川市	5,560	1	町田市	△10,117
	2	調布市	2,922	2	多摩市	△5,715
	3	小金井市	2,917	3	八王子市	△5,268
郡部	-	-	-	1	日の出町	△894
	-	-	-	2	瑞穂町	△604
島部	-	-	-	1	大島町	△800
	-	-	-	2	八丈町	△566

3区で5%以上の人口増加

区市町村別の人口の増減率をみると、令和2年より5%以上増加したのは、台東区（8.01%）、中央区（7.53%）、江東区（5.54%）の3区である。

減少率をみると、令和2年より10%以上減少したのは、奥多摩町（△12.21%）、檜原村（△12.08%）、三宅村（△12.89%）、大島町（△11.26%）、新島村（△11.18%）、神津島村（△11.00%）の2町4村である。

（表5、図6、統計表3）

表5 人口増加率、減少率の上位区市町村（令和7年）

		単位：%				
地域	順位	増加率		順位	減少率	
区部	1	台東区	8.01	1	渋谷区	△1.95
	2	中央区	7.53	2	千代田区	△0.72
	3	江東区	5.54	3	目黒区	△0.56
市部	1	立川市	3.03	1	多摩市	△3.89
	2	昭島市	2.38	2	青梅市	△3.03
	3	小金井市	2.31	3	あきる野市	△2.59
郡部	-	-	-	1	奥多摩町	△12.21
	-	-	-	2	檜原村	△12.08
島部	-	-	-	1	三宅村	△12.89
	-	-	-	2	大島町	△11.26

図5 区市町村別人口増減数（令和7年）

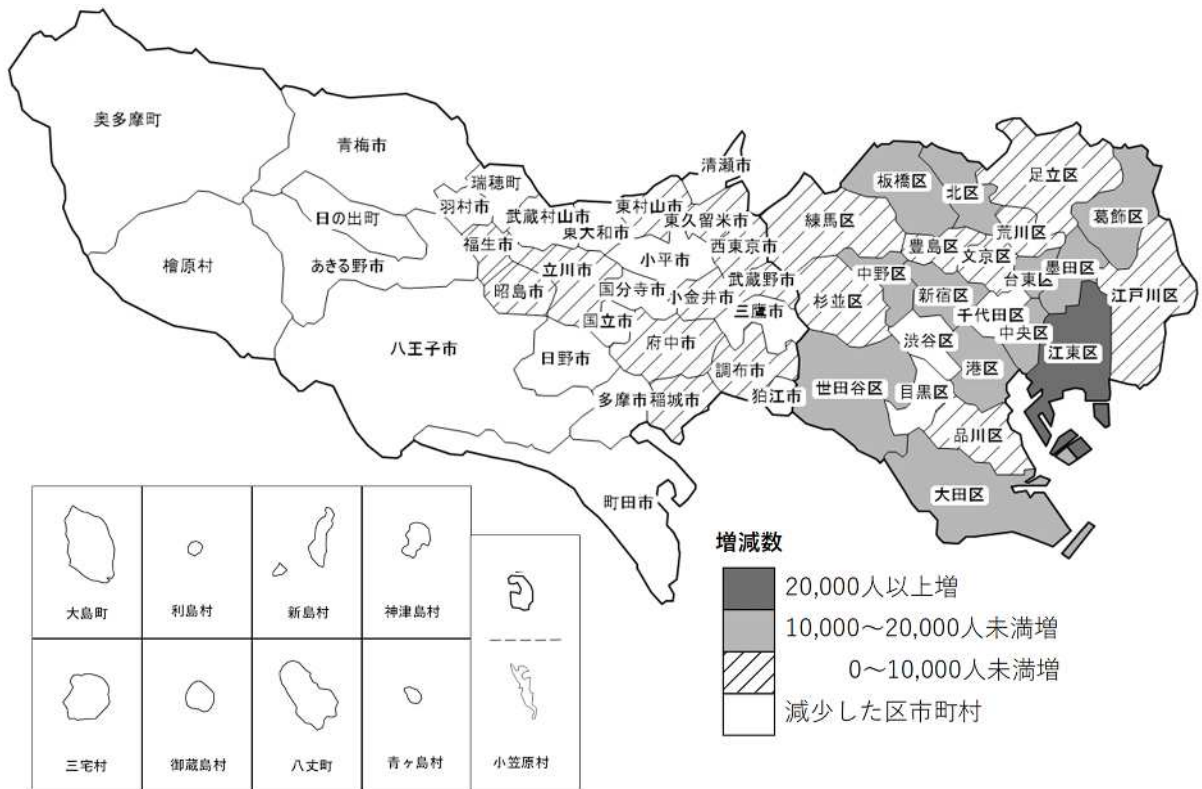


図6 区市町村別人口増減率（令和7年）



2 世帯について

(1) 総世帯数

令和2年より 約34万世帯増加

東京都の世帯数は7,566,300世帯で、令和2年と比べ339,120世帯(4.69%)増加し、昭和30年以降一貫して増加し続けている。

地域別に世帯数をみると、区部では5,496,942世帯(281,092世帯増加)、市部では2,035,153世帯(58,465世帯増加)、郡部では22,028世帯(180世帯増加)、島部では12,177世帯(617世帯減少)であった。

増減率をみると、区部(5.39%)、市部(2.96%)、郡部(0.82%)、島部(△4.82%)の順となった。

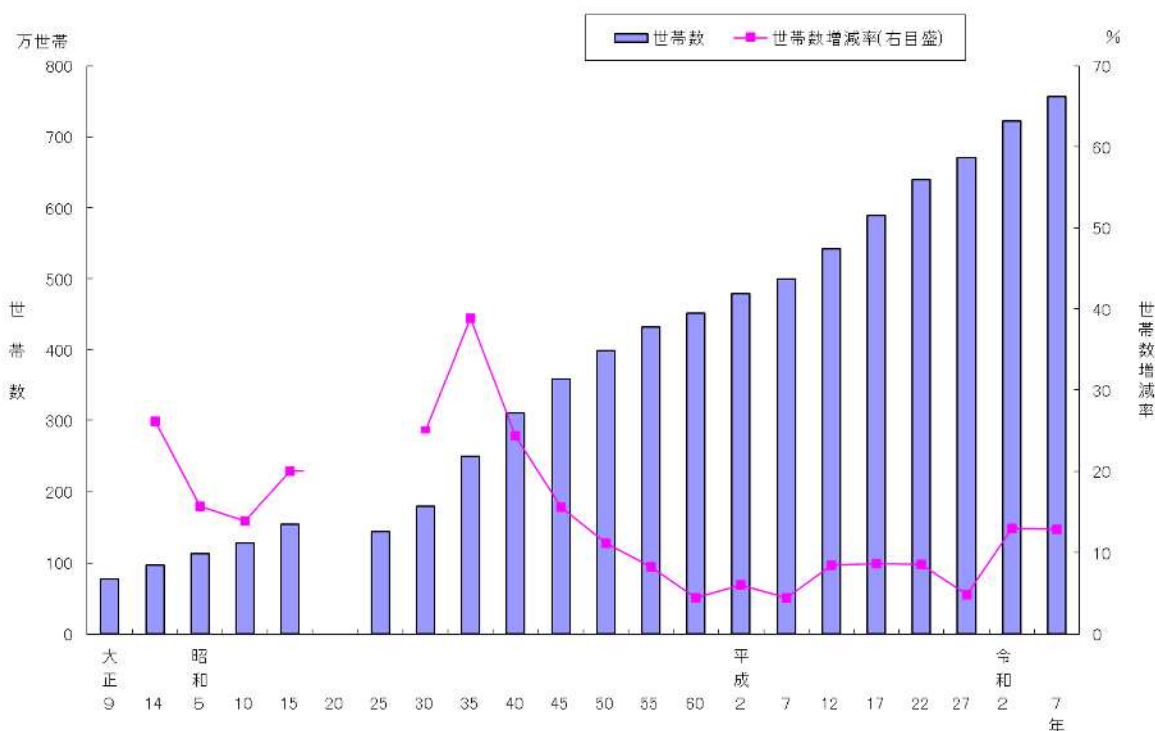
(表6、図7、統計表1、3、5)

表6 地域別総世帯数

地 域	世帯数		増減数	増減率
	令和7年	令和2年		
東京都計	7,566,300	7,227,180	339,120	4.69
区 部	5,496,942	5,215,850	281,092	5.39
市 部	2,035,153	1,976,688	58,465	2.96
郡 部	22,028	21,848	180	0.82
島 部	12,177	12,794	△ 617	△ 4.82

単位：世帯、%

図7 世帯数及び世帯数増減率の推移



注) 昭和20年は、国勢調査未実施につき、世帯数は把握されていない。

(2) 1世帯当たりの人員

1世帯当たりの人員は1.88人で、令和2年より0.06人減少

1世帯当たりの人員は、1.88人で、令和2年と比べ0.06人減少し、昭和35年以降一貫して減少し続けている。

地域別で見ると、区部1.81人（0.06人減少）と島部1.81人（0.10人減少）が最も少なく、次いで市部2.07人（0.07人減少）、郡部2.41人（0.13人減少）の順である。

区市町村別で見ると、青ヶ島村が1.35人で最も少なく、次いで利島村が1.51人、新宿区が1.52人の順である。

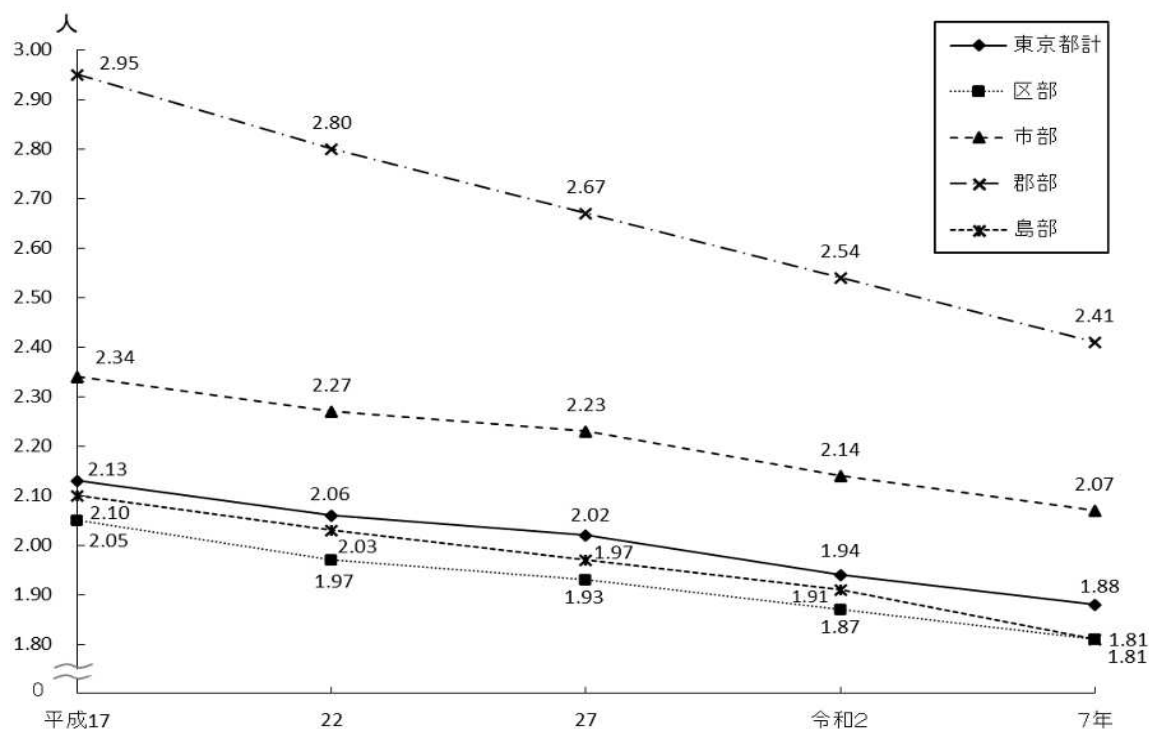
（表7、図8、統計表1、3、5）

表7 地域別人口及び世帯数、1世帯当たり人員

地域	人口		世帯数		1世帯当たり人員		1世帯当たり人員の増減数
	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年	
	東京都計	14,246,219	14,047,594	7,566,300	7,227,180	1.88	
区部	9,953,160	9,733,276	5,496,942	5,215,850	1.81	1.87	△ 0.06
市部	4,217,852	4,234,381	2,035,153	1,976,688	2.07	2.14	△ 0.07
郡部	53,156	55,476	22,028	21,848	2.41	2.54	△ 0.13
島部	22,051	24,461	12,177	12,794	1.81	1.91	△ 0.10

単位：人、世帯

図8 地域別1世帯当たり人員の推移



3 人口密度について

区部は増加、市部・郡部・島部は減少

東京都の人口密度（1km²当たり人口）は、6,475.7人で、令和2年と比べ73.1人増加した。

地域別で見ると、区部では15,861.4人（350.9人増加）、市部では5,380.3人（21.0人減少）、郡部では141.4人（6.2人減少）、島部では53.4人（6.7人減少）である。

区市町村別で見ると、人口密度が高い順に豊島区（23,528.5人）、中野区（22,792.4人）、台東区（22,590.5人）と続き、低い順では御蔵島村（14.3人）、檜原村（16.7人）、奥多摩町（18.5人）である。

（図9、統計表6）

図9 区市町村別人口密度（令和7年）

